大豆情報　（第3号）

令和４年６月15日
あおば農業協同組合
各地区農業技術者協議会

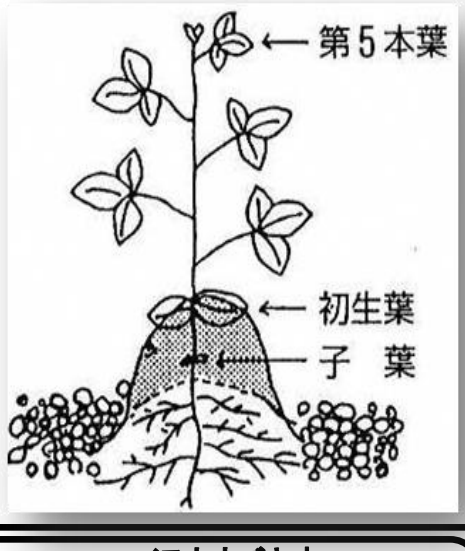
２回目の培土は適期に必ず実施！！

培土による生育量の確保と排水対策で収量・品質を高めましょう！

1．２回目の培土と排水対策の徹底　～根元までしっかり土寄せをしましょう～

本葉４～５葉期（播種30～35日後頃）

〇晴れ間をみて速やかに２回目の培土を実施し、生育量の確保と雑草の発生を抑えましょう。
〇培土したところに新たな根が発生し、生育が促進され、倒伏防止にもつながります。
〇培土作業でできた溝と額縁排水溝は、必ず連結しましょう。
〇排水溝を点検・補修し、ほ場の停滞水を速やかに排水しましょう。
〇麦跡等の１回目培土（２～３葉期）も遅れずに行いましょう。



2．雑草防除

【難防除雑草の発生に注意】
大豆ほ場への侵入・蔓延を防ぐため、早期発見に努め、ほ場侵入初期の防除を徹底しましょう。
除草方法は各地区営農経済センターにご相談ください。

〇除草剤は、雑草の種類及び生育状況、大豆の生育状況から判断し、適期を逃さずに散布しましょう。
〇畦間・株間処理は、薬剤が大豆に直接かからないよう注意して「吊り下げノズル」等を使い散布してください。薬剤が大豆に付着すると葉が黄化する等の薬害が生じます。
（※抜き取った場合は、そのまま放置すると再び根付いたり、種子が成熟したりするので、ほ場外で適切に処理しましょう。）

イヌホオズキ↓

マルバルコウ↑

薬剤名	対象雑草	10a 当たり散布量	使用方法	使用時期	使用回数
ポルトフロアブル	1 年生イネ科雑草（ｽｽﾞﾒﾉｶﾀﾋﾞﾗを除く）	薬量 200～300mℓ（水 100ℓ で希釈）	雑草茎葉散布または全面散布	イネ科雑草 3～10 葉期ただし、収穫 30 日前まで	1 回
大豆バサグラン液剤	1 年生雑草（イネ科雑草を除く）	薬量 100～150mℓ（水 100ℓ で希釈）	雑草茎葉散布	大豆 2 葉期～開花前まで（雑草 6 葉期まで）ただし収穫 45 日前まで	1 回
		薬量 300～500mℓ（水 100ℓ で希釈）	雑草茎葉散布（畦間処理）	大豆の生育期（雑草 6 葉期まで）ただし収穫 45 日前まで	
ロロックス	1 年生雑草	薬量 100～200g（水 100ℓ で希釈）	雑草茎葉兼土壌散布（畦間･株間処理）	本葉 3 葉期以降 雑草生育期(草丈 15cm 以下) ただし、収穫 30 日前まで	1 回
バスタ液剤	1 年生雑草	薬量 300～500mℓ（水 100ℓ で希釈）	雑草茎葉散布（畦間･株間処理）	本葉 5 葉期以降 雑草生育期 ただし、収穫 28 日前まで	3 回

※詳しくは各地区営農経済センターにご相談ください。

とやま GAP（富山県適正農業規範）に基づき、安全に作業しましょう。
熱中症にも注意しましょう。

大豆情報第４号は、７月中旬の発行予定です。